

平成 2 7 年度

福島町議会定例会 6 月会議

平成 2 7 年 6 月 2 6 日 (金)

一般質問通告書

福島町議会

平成27年度福島町議会定例会6月会議一般質問通告書目次

番号	氏名	質問事項	頁
1	滝川明子	①国民健康保険の保険者支援金を活用して国民健康保険税の引下げを	1
2	川村明雄	①定住及び産業活性化制度の実効性を高める対策について	3

平成27年6月15日
午前10時10分 受領

平成27年6月15日

福島町議会議長 溝部幸基様

福島町議会議員 4番 滝川明子 

一般質問通告書

福島町議会定例会6月会議において、次の件について質問したいので、会議条例第63条第2項の規定により通告します。

質問事項	質問の要旨	質問の相手
国民健康保険の保険者支援金を活用して 国民健康保険税の引下げを	<p>国民皆保険の最後のとりでといわれる国民健康保険は、高すぎる保険税などが大問題となっております。国は国保財政の安定化として平成27年度から保険者支援制度を拡充のため、消費税増収分から1,700億円を支援することとしています。</p> <p>よって、下記事項についてお尋ねします。</p> <ol style="list-style-type: none">1. 当町の支援金はいくらですか。(平成27年度～平成29年度)2. 基金は現時点でいくらですか。3. 支援金を活用し国保税を引下げませんか。	町長




注) 1 質問の要旨は、簡潔明瞭に記載すること。なお、記載外については、質問できません。
2 質問の相手は、町長、行政委員会の長又は監査委員とする。

平成27年6月15日
午後1時20分 受領

平成27年6月15日

福島町議会議長 溝部 幸基 様

福島町議会議員 8番 川村 明雄 

一般質問通告書

福島町議会定例会6月会議において、次の件について質問したいので、会議条例第63条第2項の規定により通告します。

質問事項	質問の要旨	質問の相手
定住及び産業活性化制度の実効性を高める対策について	<p>定住及び少子化対策、産業活性化対策は着々と進んでいる感はありますが、スタートした制度などを考察したとき、さらに次の視点を加えることにより、より确实重厚な対策になると思います。よって、さらに次の政策への視点を加えては如何かと存じます。</p> <ol style="list-style-type: none">1. 町企業等振興支援制度の再考2. 空き家バンク制度の活性化3. 中古住宅取得及びリフォーム補助対策4. 産業活性化サポート事業補助制度の再考 <p>まず、1番目の町企業等振興支援制度ですが、昨年度スタートされ一定の成果が示されていると思います。まだ検証には至らないと思いますが、昨年度の実績額（件数、助成額、投資額）と現時点での今年度の見込みをどのようにとらえていますでしょうか。</p> <p>現在の補助採択の為には300万円以上の設備投資が必要です。また、第5次総合計画においては漁船漁業支援事業として50万円以上の設備投資を対象に支援する計画ではありますが、これを全業種に広げる政策視点を加えてほしいと思います。</p>	町長



注) 1 質問の要旨は、簡潔明瞭に記載すること。なお、記載外については、質問できません。
2 質問の相手は、町長、行政委員会の長又は監査委員とする。

質問事項	質問の要旨	質問の相手
	<p>2番目の空き家の実態数はどのようになっていますでしょうか。また、空き家バンク制度の取り組み手法と成果はどのようになっていますでしょうか。</p> <p>3番目は、定住や就業を目指す若者あるいは定年後の生活設計を図る人方への提供を基本とした、現在の定住促進住宅等奨励事業の再考です。</p> <p>現行は500万円以上でないと助成対象になりません。当町の現状を鑑みると、100万円以上を対象にすることが当町の現実にマッチし、より定住対策に繋がることが確実です。また、取得のみにかかわらず、リフォームも補助対象にする政策も考えてはいかがでしょうか。</p> <p>4番目ですが、スタート以来毎年数件の応募があるようですが、さらに実効性のある対策とするためには指導者経費等も含め、サポート事業（現行50万円）及び起業化事業（現行100万円）とも補助限度額を300万円迄引き上げては如何でしょうか。</p> <p>町長の考え方をお尋ねいたします。</p>	